

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大戸小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	⇒ 当該学年で習得すべき漢字の読み書きおよび算数の計算を確実に習得させる。(自校テストで80%以上)
思考・判断・表現	⇒ R4年度さいたま市学習状況調査自校結果より、本校の課題と明らかとなった国語「話すこと・聞くこと」の平均無解答率を1割下げる。
主体的に学習に取り組む態度	⇒ 自校学校評価の児童アンケートにおいて、「進んで学習をしている」の項目を肯定的に答えた値を向上させる。(80%以上)

次年度に向けて
(3月)

<小6・中3> (4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当)	
思考・判断・表現	③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
主体的に学習に取り組む態度		

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	「知識・技能」において、全国平均より国語±0pt、算数-4ptであった。算数では加法と乗法の混合した式や分配法則を用いて答えを求める計算の正答率が低かったことから、基本的な計算だけでなく、正しい順序や方法を理解して複雑な計算にも正答できるような手立てが必要だということがわかった。
思考・判断・表現	「思考・判断・表現」において、全国平均より国語-5pt、算数-3ptであった。国語「話すこと・聞くこと」領域において課題がみられた。自分の考えをまとめる、話題の中心を捉える問題の無解答率が高いことから、要点をまとめて書いたり、聞いたりすることを苦手とする児童が多いことがわかった。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」と「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が91%で、全国平均を大きく上回った。主体的に学習しようとする児童が多数いるので、子ども主体の学びとなる授業が継続できるよう、引き続き努めていく。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	⇒ 全国学力・学習状況調査の結果から「数と計算」の領域に課題が見られたため、引き続きワークシートやドリルのほか、タブレットを活用した取り組みを行い、基礎的・基本的な知識・技能の一層の充実に努める。
思考・判断・表現	⇒ 話し合う視点を明確にした交流場面を意識的に設定し、自分の思いや考えを適切に伝え合うことができるようにするとともに、得られた考えを整理して書いたり話したりする活動を設定する。
主体的に学習に取り組む態度	⇒ 全国学力・学習状況調査の結果から、6年生において主体的に学習に取り組む児童が9割程度いたので、6年生の授業展開を全校で確認し、良い部分は他学年でも取り入れるようにする。